

# 結女だより



2023年4月1日発行

©企業組合ワークーズ・コレクティブ結女

西東京市泉町3-15-28

電話042-425-3800

## 結女のこだわり

『結女』は素材にこだわり（素性がわかる）、鮮度を保ち（朝、全て調理）、手作りで作っています。

「だし」も、昆布や煮干し、鰹節の天然「だし」を使っています。この「だし」の中にうま味成分が溶け出しているのです。毎日の煮物などは、大量調理なので野菜自身の味とうま味がマッチして、より美味しさが引き立つため、自分の家での少量の煮物ではなかなか出せない美味しさになっています。

豆腐・こんにゃく・魚・野菜は地域の生産者と連携を取り、また緑を保つ取り組みとして、地場の野菜を計画的に使っています。

地域と連携してどのように活動していくかを考えつつ、四季折々の食材を使って、日々こだわりの食事を作っています。

## 《四月 防災》

新年度が始まります。4月は新たな気持ちで始めたくなる月です。

この機会に防災について見直してみるのはいかがでしょうか？

まずは備蓄品から。

備蓄の方法として保存食がありますが、防災用として準備するのではなく、日常の中に食糧備蓄を取り込む方法もあります。

回転備蓄（ローリングストック）といい、日常使う食品や加工品を一定量より少し多めに購入し、使った分だけ新しく購入する方法です。食べたことのない保存食より、いつもの缶詰やレトルトの食品があると気持ちも落ち着きます。

食品だけでなく、薬や紙製品など、自分に必要なものを回転備蓄しておくのはいかがでしょうか。

いつも目に付く自分使いのものを備えることができ、いざという時に慌てずにすみそうです。

# 〔ひとことコラム〕

お昼ご飯を食べながら出てきた話を  
少しご紹介します



4月の和風月名は、卯月（うづき）です  
卯の花が咲く月を意味する「卯の花月（うのはなづき）」が略されて「卯月」になったというのが通説になっています。  
卯の花は、5～6月頃に咲く小さな白い花です。（昔の4月は旧暦のため現在の5月にあたります）  
万葉集にも登場していますので、人々に愛されてきた花のようです。

先日、带状疱疹を発症し、とても辛く痛い思いをしました。  
带状疱疹は水疱瘡の原因となるウィルスと同じ水痘、带状疱疹ウィルスによるものです。  
50歳以上の人に多く発症するようです。

加齢や疲れ、ストレスなどで免疫が弱まると、体内のウィルスが活動し始め、神経に沿って発疹などが現れ、針でつつかれたような強烈な痛みが症状として出ます。（この3年、コロナ禍によるストレスからも。発症数が増えているようです。）

後遺症が残ることも多いので、ワクチン接種も推奨されているようです。

まだかかっていない人は、お医者さんに相談されるのも良いかと思います。

春の風物詩とも言える、新1年生が背負う色鮮やかなランドセル。

静岡県浜松市の会社が、子供達を水難事故から守るために『水に浮くランドセル』を開発しました。

震災から12年。「子どもたちの命を守りたい」との思いから10年以上の時間をかけてようやく出来上がったランドセル。

もしもの時には、いつも使っているランドセルを救命胴衣のように装着することで、浮きながら救助を待つことができます。

この商品が、防災を考えるきっかけにつながったり、選択肢のひとつになり、子どもたちが自分の命を守れる一助になれば、と社長も話していたそうです。

